

連載版：自称機械技師の備忘録

アビャア

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

色々とヤバい物質コーラップスと第三次世界大戦の核によって人類激滅と生活圏が狭まったり鉄血工造の戦術人形が人類抹殺を掲げ色々とお先真っ暗な2061年。

ゾンビ、ミュータント、鉄血人形というオワタ式が構築されつつある世界に退役軍人の機械技師の男が、何かを作ったり、面倒事に巻き込まれたり複合兵装片手に暴れたりしながら気儘に日記を書く物語である。

※この作品は『機械技師の備忘録』を連載化したものです。詳しくは活動報告に書いているので見てくれると嬉しいです。 m () m

目次

日記01	軍辞めた	1
日記02	傭兵始めました。	8

日記01 軍辞めた

おめでとう！この嚴重なロックを解除したということは中々に凄い奴だな！

おっと、突然のことで驚かしてしまつてすまないな。アンタが解いたそのロック、頭の発想力をフル回転しないと解除出来ない仕組みになつていてな。簡単なやつでも下手すりや二週間以上掛かるレベルなんだわ。

いやあアンタ凄いわ本当に。

まあ、そんなアンタにこの世界についての簡単に歴史をおさらいしておこう。

授業とかで習つたとしてもおさらいとして見てくれるのなら幸いだ。

先ずは、この世界が崩壊の一途を辿つた原因の一つコーラップスについてだ。

1905年に各地で見つかった高度な文明を残した『遺跡』。そこから発掘されたものが『崩壊液コーラップス』と呼ばれる物質だ。知つていると思うが、こいつは分子構造を崩壊させながら膨大なエネルギーを蓄える危険性があるが、その代わり特定の手順を踏んで物質を再構築すれば鉄から金へ、灯油から石油という錬金術に似たような技術が出来る夢のような物質。

こいつのお陰で様々な新技術の確立や恩恵を受けるようになった訳だ。その代わり世界各国の連中は裏で遺跡の奪い合いが始まつたけどな。

しかし、コイツは上記の通り核の放射線よりも厄介でな、2030年頃だつてか、中国・上海沖の北蘭島から全ての悲劇が始まつた。

その時、とある中学生達が封鎖されていた遺跡に侵入してしまつ

て、そこで何があつたか分からないがコーラップスが大爆発を起こし遺跡が崩壊。その後コーラップスの粒子は対流圏まで巻き上げられてジェット気流に乗り全世界へと拡散しちやつて世界規模のバイオハザードが発生しちやてねえ、その粒子が降り注いだ地域は人間の生存が不可能なレベルにまで汚染、被爆した生命なんかは、E・L・I・Dっていう感染症に侵されて最悪ゾンビやミュータントとなって他の生物を襲うという地獄絵図が生まれた訳だな。

資料や映像しか知らないが俺の故郷の日本なんかは土地が完全汚染されてしまつて滅んでしまつたから悲しいもんだよ。

世界規模のコーラップス汚染による大量の人が死んだ最悪の事件『北蘭島事件』から15年間、汚染による人類が住める土地の激滅によつて各国に外交摩擦が頻繁に起こり初めちやつて最終的に第三次世界大戦が勃発、世界各国は大量の核兵器の使用という第二のやらかしを犯ちやう訳だ。

全く土地が狭くなつたというのに核を使うとか自殺行為だつていうのに当時のお偉いさんには困つたもんだぜ。

その戦争は2051年の6年間行われ、核兵器が多く使われた事による狭かつた生存圏の縮小とEMPの頻発によつてコンピューターに依存する空軍戦力と海軍戦力は虫の息。

白兵戦が主流となり少なくなつた人類の数は激減したがどころがどつこい！人類は滅びなかつたんだなあコレが。

滅びなかつた理由、それは『北蘭島事件』による人類の激滅による労働力不足を補う為に作られた存在『自律人形』の存在のお陰でどうにかなつたわけだ。

こいつらは、人間に近い疑似人格と人工的な生体パーツを使用することでほぼ人間と区別がつかない外見を与えられた人形達は、直ぐに人間社会に溶け込み社会に多大な貢献を与えたわけ、戦闘家事労働、夜の営みまで何でもござれな素敵使用なのだから当たり前か。

戦争が始まれば軍事目的で転用された戦闘用『戦術人形』が生まれ戦争でも大活躍！

その中でも強靱で頑丈な『イエーガーシリーズ』を手掛ける『鉄血工造株式会社』と高性能の人形『CSDシリーズ』を手掛ける『I.O.P社』の二社は世界にその名を轟かせ巨大な企業へと躍進していく訳だ。

そこで第三次戦争終了後、世界各国は話し合いの結果、正規軍を発足。国家運営が困難になるレベルまで衰退した国家は重要な都市だけを直轄管理し、その他の都市の運営を入札によって権利を獲得したPMCといった民間企業に任せるようになり今に至るってわけ。勉強になっただろう？

そんなお先真つ暗なクソツタレな世界を俺達は今日も生きている。

おっと名前を書き忘れてたな。

俺の名前は『丈二・ルキーチ・ニコフ』。こんな名前だがハーフではなく純日本人。俺が赤ん坊の時に両親が内戦で死んでしまったので、その時にロシア軍人の義父に拾われて今の名前だ。

灰色に近い黒髪が特徴的な無精髭がチャームポイント31歳。特技は機械修理や開発、終戦後に退役した元軍人で肉体を多少弄くった強化人間。

好きなものは機械弄りとコーラ。嫌いなものはスプラッタ系とサイコパスといったところだろうか。

何でこんな詳細に書くかって？それはこの日記が俺のドツクタグ

のようなものだからだ。

取り敢えず日記以外にも今まで培った技術や知識もある程度記載した小型タブレットも付属しているから、この日記がアンタの生きる希望になれば幸いだ。

この日記を拾って読んでよし、棄てるもよし、薪代わりにしても……いや燃やされるのは勘弁だな。

まあ生きる糧として使われたら此方としては嬉しいものだ。

まあ、強く生きろよ。人生案外どうにかなる。

2061年●月▲日『技師の備忘録：前書き』より抜粋

○月○日

天気：晴れ

三日前、俺を軍を退役した。

赤ん坊の頃、両親を内紛で失い義父に拾われ育てられそんな義父の

背中に憧れて軍に入って十数年。設備班として働きながら特技兵として特殊部隊や戦場に駆り出された俺こと丈二・ルキーチだが、今はホテルのベッドでコーラを飲みながらだらけた格好で日記を書いている。

軍を止めた理由は、俺の事を目の上のたん瘤として扱っていた一部の上層部によつて摘み出されてしまった。

まあ前々から軍を止めたいと思っていたし、上の連中が動き出す一週間前には既に知っていたから彼等の思惑を利用して上手いこと軍を止めることに成功した。

いやあ、止めたくても裏で兵器整備や電子情報の二つの部署のお偉いさん方によつて止めれない状況だったからねえ。今頃俺を嵌めた連中はこの二つの部署に責められて大慌てしていることだろう。いやあ愉悦愉悦。

そんなこんなで行方を眩まして昨日、ホテルでチェックインしコーラを飲みながらベッドで寛いでいたのだが、やはり新しい趣味を持ちたいと思いついて日記を始めることにしたのだ。

毎日書くのは面倒なので気が向いたら書くことにしよう。

明日には、新しい街に移動し、辿り着いた街で傭兵と機械設備とかで活動する予定だ。

軍役時代に出会い一緒に行動していた戦術人形のティスはクアンには申し訳ないが暫く一人で活動することにする。彼女達は信頼出来る親友の会社に預けているから暫くは安全だろう。

取り敢えず最初の一ページは前書きを書くために開けておくことにして、日記のブックカバーと小型タブレットの改造案でも練っておくか。

×月×日

晴れ

ホテルを離れ自慢の改造3輪バイク『TRON-V』を走らせること三日。目的地である街に辿り着いた。

この街は強靱で頑丈な戦術人形『イエーガーシリーズ』を手掛ける会社『鉄血工造』が管理している街である。

この街は少々物価が高いが、珍しい機械の部品。パーツが手に入りやすいエリアで前々から此処に住みたいと思っていたのだ。

ちなみに、この街から30分走れば鉄血工造の本社がある街に辿りつけれる。

俺が住む場所は少し寂れた場所にある二階建ての古びた小さな事務所で、一階が駐車スペースと荷物置き場であろう地下。二階の右半分には接客用のソファや机が埃かかった状態で鎮座している少し狭い事務所、左半分が居住スペースといった所だろうか。

荷物は明日届く予定なので、少しこの事務所を掃除しておこう。

×月×日

この事務所の大掃除を済ました翌日、荷物が届いたので家具とか備品を置いていたのだが、その荷物の中に俺が使っていた複合兵装と同じヤツと、この二つのベースとなったオリジナルが手紙と一緒に梱包されていたのだが……。

どうすれば良いんだコレ？

日記02 傭兵始めました。

▲月▼日

荷物もある程度片付き、今は荷物の中に紛れていた二つの複合兵器『オクスタンランチャー』とその廉価版として製作された試作兵器『オクスタンライフル』の軽いフィッティング作業をしている。

この武器は第三次世界大戦末期に開発された武器で、並の武器では倒しづらい化け物が多いE・L・I・D、装甲が分厚い戦術人形及び機動兵器相手に臨機応変に対応でき確実な致命傷を与えるというコンセプトで作られたのが『オクスタンランチャー』である。

こいつの特徴はビーム兵器と実弾兵器の両立させたことで、下部の銃身は高出力の小型荷電粒子砲。上部の銃身には対物ライフル用の特殊徹甲弾という縦に並べた二連式のライフル。

状況に合わせて実弾の『B』。ビームの『E』。同時撃ちの『W』。この3つのモードを切り替えて戦えるのだが、銃身が大人一人分と長く重い、実弾の射程が短く荷電粒子砲の反動が強かったり明らかに人間が扱える所か実戦で活躍出来るかどうか怪しい。生産コストや維持費が高いといった弱点が露呈しまった。

それを解決しようとしたのが『オクスタンライフル』。

こいつはランチャーの廉価版で、使える弾丸の種類を増やし荷電粒子砲の威力を下げる代わりに連射と照射の二種類を追加することで攻撃の幅を広くさせることに成功。

形状をシンプルにすることでコストや重量も削減。メンテナンスしやすくなったりと、ランチャーの欠点を補うことに成功した。

俺も軍役時代、化物相手に対してこのライフルを愛用する程には使い安かった。

しかし、その時には鉄血の上位の戦術人形。通称『ハイエンドモデル』の運用が本格化されていたり、コストの削減が出来ても生産費が未だ高く、一緒にするより別々にした方が安くね？という感じに進んでいってしまいその結果、ライフルは二丁しか生産されず計画自体

も中止になり軍の倉庫に眠るはめになった悲しい過去がある。

ちなみに二丁作られたオクスタンライフルの一つを俺が軍を止める2ヶ月前まで運用していた。もしあの生物兵器との戦闘で壊れなかったら普通に持ち出してたかもしれない。

つてか丸太みたいな巨腕と戦車級のビーム砲を連発する怪物によく勝てた俺……。

そしてこの二丁を送ったのは兵器開発局の連中。俺にこの二丁のデータ収集を兼ねて餞別という名の押し付けをしてきたのである。

これをどうしろと……

返そうにもこいつ等は表向きで”廃棄処分”されているので返せないし、データ収集による報酬金も悪くない。

扱い辛いが性能はかなりのものなので渋々だが貰っておこう。

しかし、ライフルは使いなれてはいるがランチャーは試射以外実戦で使ったことがなかったからどうしたものか。

●月▲日

オクスタンランチャーとライフルをギターケースを大きくした専用のケースに収納しそれを背負い、バイクに乗って少し離れた場所にある傭兵達が集う『Monday』という酒場に赴いて傭兵登録をした。

その酒場は荒くれ共の喧騒で賑わう酒場なのだが、それなりのマナーとかはちゃんとしていて何より酒とつまみが美味しい。

店主はスキンヘッドにグラサンという如何にも歴然漂う大男、通称『マスター』と自律人形数体とグラマスで執事服を着た二人で切り盛りしているのだが、ウエイトレスにセクハラしようなら完膚なきまでに打ちのめされて外に捨てられるから恐ろしい。

俺が見る限り自律人形達は軍用に勝る程に改良されているが、ウエイトレス二人の方が遥かに強い。

青色の服の女性『ウイタリオ』は如何にも元軍人漂う黒髪ストリートで周りの野郎共から姉御呼ばれされているが、『ベツキー』という欠伸をしている赤色の服を着た茶髪の女性なんて片手で痴漢しようとした酔っぱらいの男の腕を折っているからね。

するつもりはないが、まじで逆らわないにしよう。

@月@日

『Monday』で傭兵登録してからはや数日、依頼を受ける日々をおくっているがとても暇だ。

仕事がないよりかはマシだがとても暇だ。

辺境の化物退治やらチンピラレベルの盗賊達の討伐やらやっているがなんというか張り合いがない。

というよりオクスタンライフルを使う前に終わってしまった。

：． いや此が普通の傭兵生活だろう。俺が対峙してきた化物で大抵、軍で要注意されているレベルの奴等ばかりだったし。

なにかないかコーラサワーを飲みながら、最近少しだけ仲良くなったベツキーに話し掛けた所、面白い依頼を持ち込んできた。

それは盗賊の討伐なのだがこの盗賊団、少数ながら全員がサイボーグ化をした連中で、基本的にはバギーに乗って輸送している車両を襲うのだが軍用でも容赦なく襲う命知らずらしい。

奪ったものの中には最新鋭の兵器や装備も当然あり、それらを用いて自分達を強化し続けているらしく次第に手に負えなくなってきた。

そんな彼等を殲滅させるのがこの任務で輸送車に偽装した車両に隠れ一気に殲滅する。そして相手がサイボーグなのでメモリーを読み取りアジトを探し当て、そこを襲撃するという任務だ。

どうやら軍事企業も参加する予定らしくやや規模の大きい作戦になるらしい。

その作戦が面白そうだったので喜んでその任務を受けた。
明後日には●●●●という場所で顔合わせとブリーフィングをするらしいのでそれまでに装備を整えておこう。

●月●日

今日、トロンベを走らせて目的地について中に入ったのだが其処にいたのはかつて新兵時代にお世話になったクルーガーさんと、彼が立ち上げた民間軍事請負会社『G & a m p K』に所属する戦術人形部隊『A R 隊』が其処にいた。

うわあ……めっちゃくそ逃げたい。